

請 願 文 書 表

受理番号	6-1	受理年月日	6.2.9	付託委員会	建設常任委員会
請願者の住所及び氏名	京都府城陽市寺田深谷7-231 福永 隆介 京都府城陽市寺田大川原18-23 杉谷有香子 京都府城陽市寺田宮ノ平54-18 津田 友恵 京都府城陽市寺田大川原73-25 棕平あいか 京都府城陽市寺田宮ノ谷29-60 山口 玲子			紹介議員	谷 直樹 善利 誠 宮園 智子 相原佳代子 西 良倫
件 名	スケートボードパーク建設を求める請願書				
要 旨	新名神高速道路高架下の土地活用と青少年健全育成のためのスポーツ施設としてスケートボードパークの建設を求めます。				

1. 請願の趣旨

新名神高速道路高架下の土地活用と青少年健全育成のためのスポーツ施設としてスケートボードパークの建設を求めます。

2. 請願理由

私達の住む城陽市は青少年の健全育成に向け、子どもたちが社会性や自主性を自ら育むことを大切にされた教育活動や支援を日々行っていたいております。一方で昨今、社会全体における価値観やニーズの多様化や、家庭を含めた地域社会における人間関係の希薄化が進んでいるという現状がございます。

そこで、私達は身近な世代の声を多く聞いて参りました中で、スポーツを通して本市の若い選手を育てる場と共に市民の皆様が集えるレクリエーション(余暇活動)の空間、アーバンスポーツを取り入れた次世代の公園の建設が必要であると考え、運動活動をはじめました。

現在、本市においては、アーバンスポーツを行う施設がなく、公的な施設の設置を要望するものであります。アーバンスポーツの中でも、特にスケートボードパーク施設は利用者人口に対して施設数が大幅に足りない状況です。

また近年、高速道路高架下活用においても、様々な施設ができる中でオープンスペース政策は幾多の先進事例が示されています。

アーバンスポーツに勤しむ若者は自転車で隣町のパークまで行かなくてはなりませんし、もっと若い世代は親御様がいないと行くこともできず練習すらできないという現状が聞こえてきています。

2020年から正式なオリンピック競技にもなり、需要はどんどん高まっております。そこで私達は城陽市内へのスケートボードパーク施設の設置を目指して立ち上がりました。

スケートボードパークとは、スケートボードを安全に行うための施設です。公園の一角に、ハーフパイプやボウル、ジャンプ台などを配置してあります。現在、本場のアメリカでは街中に数多くこうしたスケートパークが作られており、地元の自治体や市民団体に運営されています。個人や、仲間内で作っている人もいます。日本でも、近年のアーバンスポーツの盛り上がりを受け、スケートボードパークを作る自治体が増えてきました。京都府内においての有名な成功事例が、地元の若者が市長に直訴したのがきっかけで、2004年に設立された京都府京田辺市のスケートボードパークです。2022年には京都府の八幡市も同じくスケートボードパークが設立されました。

スケートボードパークの設立意義

1) 青少年の育成

「このスポーツをしていなかったらつまらない不良になっていたかも

知れない。」…これはあるトップライダーの言葉です。「スケートパークに来るヤツは不良!」と誤解されている方はぜひ考え直して下さい。スケートパークでは、10歳前後から40歳前後の人までが同じフィールドで遊ぶのです。大人から子供と一緒に施設を共有しながら行える場となり健全な青少年の育成に繋がると確信いたします。

2) アスリートの育成

アーバンスポーツで培ったバランス感覚や身体能力を生かして活躍している各種スポーツのトッププロが数多くいます。モトクロスのプロライダーの多くは小さい頃はBMX、スノーボードのトッププロはほとんどがスケートボード出身です。一躍有名になったモーグルスキーもインラインスケートをオフトレーニングとして取り入れている事は有名です。この様にスケートボードパークがアスリートの育成に多大な影響を与えている事はご理解頂けると思います。

3) 経済効果

評判の良いスケートパークには、日本中から、時には世界中から人が来ます。この街にしかないスケートパークとなれば、トップクラスのプレーヤーやライダーが噂し、はるばる訪れ、雑誌に掲載される事もあります。新しいスケートパークに寄せる期待…「是非行きたい」という問い合わせがすでに多数寄せられています。

4) 市民との共存

スケートボードに関して、邪魔だ、迷惑だと反感を持っている皆さんに対し、私達も反省しなければなりません。しかし、他のスポーツに置き換えて考えてみてください。

私達にはコートもグラウンドもありません。スケートパークがあれば私達も迷惑行為や非合法行為にもならない様、このスポーツに打ち込めるのです。私達は気持ちよく認め合える関係を望んでいます。

上記の意義を踏まえたなかで、城陽市内をはしる新名神高速道路高架下活用が、天候に左右されにくいアーバンスポーツ施設としての価値を創出できると考え、スケートボードパーク建設を切に要望いたします。